西麻布

樹木希林の家

設計，黒川哲郎＋ハードウェア

House at Nishi-Azabu

Tetsuro Kurokawa, *architect*

photos : H. Tanaka

1階平面

屋階平面

地階平面　1/150

3階平面

2階平面

名称／樹木希林の家　所在地／東京都港区西麻布　用途地区／2種住専　施主の家族構成／夫婦＋子供1人　設計／黒川哲郎＋ハードウェア　構造設計／浜宇津構造設計室　設備設計／脇設備設計事務所　家具設計／黒川哲郎＋岩沢晴彦　設計期間／1977年4月～11月　施工／渡部建設　床暖房／サンスイ・エンジニアリング　工期／1977年12月～1978年10月　敷地面積／130.93m²　建築面積／78.02m²　延床面積／289.92m²（地階59.17m²，1階77.19m²，2階76.78m²，3階76.78m²）　構造／鉄筋コンクリート造　空調／床暖房＋ファンコイル　給湯／石油ボイラー　主な仕上げ／外部：屋上→シート防水の上芝張り，一部コンクリート平板敷，外壁→コンクリート打放し，防水剤塗布　内部：天井→コンクリート打放し（浴室，洗面所はV.P.塗布），壁→コンクリート打放し（浴室，洗面所は玄昌石張り），床→玄昌石張り（地下，階段はコンクリート打放し）　主な使用機器／ボイラー→ディプロマット，冷暖房用機器→日立住宅設備機器，レンジ→NEFF，バスタブ・便器・洗面器→TOTO

Coca-Cola

ROBIN

この住宅の施主のように，住宅に対してはっきりした生活像と明快な自己主張や好みをもっている場合，それをどこまで，またどのように反映させるか，かつ制御するかに，翻弄させられてしまうものだが，本来住宅設計とは，そういうストラグルがつきまとうべきものではないかと思う．　ところが，最近では施主に明確な生活像がない場合が多く，建築家もまたそれをいいことに生活からまったくかけ離れた空間をつくって，住宅と称しているようにみうけられる．

設計中，彼女が心ひかれているものが，どうもアールデコらしいということが，彼女が持ってきた本からわかった時は，本当に嬉しくなった．　なぜなら，アールヌーボーからアールデコに至る時代は，単に装飾や模様をやたらに産み出しただけではなく，素材の理解とその表現を究極にまで求め続けた時代といえるからだ．

生活上，仕事上から要求されるアクティビティは，敷地とのからみから，地階は稽古場，コンサート・ホール，1階はプロダクション事務所，2階はパブリックな居室，3階はプライヴェートな居室，屋階はルーフアウトサイドといったワン・フロアーワン・ファンクションで構成されている．　ドアのひとつもない2階は，居間，書斎，食堂，厨房を，アルミパンチメタルを2mmガラスでサンドイッチしたスクリーンで間仕切りしている．　このスクリーンは，窓のひし形のラフワイヤー・ガラスとともに，外光や照明の変化に敏感に反応して錯視的な世界をつくり出している．　スクリーンと，サッシュと，ダイメンション・システム家具の格子は，それに対して確かな座標を与えている．

建物の東面と西面に屋階までとりつけられたプラントネットは，手摺りとグリーン・エンバイラメントのための装置を兼ねているが，外部の吹抜けといったかたちで垂直の連続感をつくっている．　のみならず，溶接金網の細かいスケールでの垂直，水平の積み重ねが，敷地の制約からこの建物がはじめからはらんでいる6つの傾斜面に対抗している．

さらにコンクリート・ブロックとガラス・ブロックの目地，スチールサッシュの格子，面木のある，なし，あるいはふかしを加えてつくったコンクリートのエッジといったものが，この対抗を強調している．　そしてプラントネットの頭頂の曲面が，相互のからみを融合させている．　1階の事務所の東面にはガラス・ブロックを，西面にはラフワイヤー・ガラスを使って，事務所全体を光の滞留する空間として，2本の街路に空気を通わせている．

素材とその表現の追求といったことは，いきなり達成できるものではないし，それが装飾的な効果を発揮するということも簡単に期待できるものでもない．
しかし，空間表現の新たな展開を生み出す手段としては，この追求を欠かすことはできないと思う．

（黒川哲郎）

鉄板丸窓　黒田アトリエ（都市住宅<住宅第8集>）以来，少しずつ改良を加えて5軒の住宅で使用してきたが，今回，蝶番に力を伝達しないで開閉できるようハンドルのピンを改造し，さらにメッキをしたものを基本的な在庫の仕様とした．

スクリーン　スチールパンチメタルを使った可動スクリーンやエクスパンドメタルを使った軒先ルーバーを，田中邸で試みたが，穴の細いものは，ペンキで穴がつぶれてしまうので，今回はアルミをガラスでサンドイッチしている．

プラントネット　19mm筋の格子と6mm100□の溶接金網を使っている．　コンクリートのファサードに対して，外部のフィルターとなって，内部のアルミスクリーンと対応している．

クレモン　以前は，二重サッシュを外側はアルミ，内側は内開きの木製としたが，既製品のクレモンが価格の馬鹿高いものしかないので，板金加工で製作した．　今回はメカのカバーを鋳物にし，そのパーツだけ在庫，他のパーツは受注してすぐ加工でき，在庫をせずにすむ．

照明器具　露出配線に照明器具をできるだけ単純に取付けたいという発想から，鋳鉄製の丸ボックスをそのまま照明器具にしたてたもので，パーツは他にやはり既製のモーガルソケットとめくらプレート．　丸ボックスの打込みも試みている．

鉄板トア　単純な6mm板に錠前や蝶番をつけてドアにしたててしまおうというもので，重箱住居で玄関ドアとしてはじめて試みた．　今回は，インテリアのドアに使っているが船舶用の面付の錠前がみつかったことで，すっきりとしたものに近づいている．

鉄板ドア　平断面 1/4

鉄マド　平断面 1/4　立面 1/8

パンチングメタル・スクリーン 1/4

プラント・ネット 1/4

モーガル・ランプ 1/4

クレモン 1/4

●名称――G & G
所在地――東京都杉並区善福寺
用途地区――第一種住居専用地域，第一種高度利用地区
施主の家族構成―夫婦＋子供2人
●設計――大杉喜彦
構造設計――佐野建築構造事務所
設備設計――大杉喜彦
設計期間――1976年8月～12月
●施工――真柄鐵設
工期――1977年3月～11月
●面積
敷地面積――167m²
建築面積――70m²
延床面積――185m²
地階――57m²
1階――55m²
2階――45m²
3階――28m²
●方式
構造――鉄筋コンクリート壁式構造
設備・空調――強制式温気炉暖房，一部床暖房
・給湯――貯湯式ボイラー
●主な仕上げ
外部
<屋根>――アスファルト断熱防水，コンクリート押え
<壁>――コンクリート打放，浸透性防水済塗布（ケミストップ）
内部
<天井>――コンクリート打放
バスルーム――コンクリート打放の上，デュッセル
<壁>
居間・食堂――コンクリート打放
厨房――コンクリート打放，一部黒ミカゲマーベロン
寝室・子供室――J・PB・GL工法，クロス貼
バスルーム――200角タイル貼
<床>
居間――サクラフローリング下地，シャギーカーペット敷込
食堂・厨房――大理石貼
寝室・子供室――サクラフローリング，ウレタン塗装
バスルーム――200角タイル貼
●主な使用機器
ボイラー――ターダ
冷暖房用機器――IHS暖房用
シンク――アメリカンスタンダード
レンジ――マジックシェフ・クックトップ
バスタブ――TOTO　PB70
便器――TOTO　C―150
洗面器――TOTO　C―526
シャワーセット―グローエ
●インテリア
家具――特注・坂光家具
建築金物――モドリック，ユニオン BASALT COLOURS
建具――塩地，ブラインドグリアー
照明器具――クリアボール表し

●名称――森木番林の家
所在地――東京都港区西麻布
用途地区――第2種住居専用地域
施主の家族構成―夫婦＋子供1人
●設計――ハードウェア（製作・著作）
設計期間――1977年4月～11月
設計・発注・監理―黒川哲郎＋吉川和博
構造設計――浜宇津構造設計室（浜宇津正）
設備設計――脇設備設計事務所（脇乾一郎）
床暖房――サンスイ・エンジニアリング
家具設計――黒川哲郎＋岩沢晴彦
●施工――渡部建設
床暖房――サンスイ・エンジニアリング
工期――1977年12月～1978年10月
●面積
敷地面積――130.93m²
建築面積――78.02m²
延床面積――289.92m²
地階――59.17m²
1階――77.19m²
2階――76.78m²
3階――76.78m²
●方式
構造――鉄筋コンクリート造
設備・空調――床暖房ファンコイル
給湯――石油ボイラー
●主な仕上げ
外部
<屋上>――シート防水の上，芝貼
一部コンクリート平板敷
<壁>――コンクリート打放の上，防水剤塗布
内部
<天井>
居間，食堂――コンクリート打放
寝室，子供室――コンクリート打放
厨房――コンクリート打放
洗面所・浴室――コンクリート打放の上，V.P
<壁>
居間，食堂――コンクリート打放
寝室，子供室――コンクリート打放
厨房――コンクリート打放
洗面所・浴室――玄昌石貼
<床>
居間，食堂――玄昌石貼
寝室，子供室――玄昌石貼
厨房――玄昌石貼
地下・階段――コンクリート打放
●主な使用機器
ボイラー――ディプロマット
冷暖房用機器――日立住宅設備機器
レンジ――NEFF
バスタブ――TOTO
便器――TOTO
洗面器――TOTO
シャワーセット―グローエ
●インテリア
家具――ハードウェア＋原木工
建築金物――オーシマ，カナエ
建具――フェンスター東京
照明器具――日本船舶電具